

## ■8月14日

## ジェットスター・ジャパン(LCC)、搭乗者数200万人突破

ジェットスター・ジャパンは13日、昨年7月の就航から1年余りで総搭乗者数が200万人を超えたと発表した。

同社は成田空港を拠点とし、エアバスA320型機を13機で、国内9都市に就航し、現在は13路線で1日最大70便を運航。また、すべての路線の平均の搭乗率は72%で、7月の定時運航率は93%。

Aviationwireによると、昨年秋からたびたび延期となっている関西空港の第2拠点化の時期については、「できれば年内で考えたい」(鈴木社長)と述べた。国際線の就航計画については、現時点では決定したものはないという。また、昨年の就航から3年以内としている黒字化については、「達成すると考えている」と語った。

(産経ニュース)8/13

<http://sankei.jp.msn.com/life/news/130813/trd13081312110015-n1.htm> (->

<http://sankei.jp.msn.com/life/news/130813/trd13081312110015-n1.htm>)

(aviationwire)8/13

<http://www.aviationwire.jp/archives/24598> (-> <http://www.aviationwire.jp/archives/24598>)

(ジェットスター・ジャパン プレスリリース)8/13

[http://www.jetstar.com/jp/ja/about-us/~/\\_media/A7E702E85AFE4134B7B6E27B018FCA96.ashx](http://www.jetstar.com/jp/ja/about-us/~/_media/A7E702E85AFE4134B7B6E27B018FCA96.ashx) (->

[http://www.jetstar.com/jp/ja/about-us/~/\\_media/A7E702E85AFE4134B7B6E27B018FCA96.ashx](http://www.jetstar.com/jp/ja/about-us/~/_media/A7E702E85AFE4134B7B6E27B018FCA96.ashx))

## 中国南方航空、富山—大連線、区間運航再開

日中関係の悪化などによって去年10月から運休していた富山—大連・北京便が富山—大連間について来月から週2便で運航が再開されることが13日分かった。

県によると、中国南方航空から富山—大連便の運航再開の申請があり、国交省が9月からの運行再開を認可したということです。運航が再開されれば、現在運休している中国南方航空の日本路線の中での運航再開は富山便が初めて。

(KNB web)8/13

[http://www2.knb.ne.jp/news/20130813\\_37525.htm](http://www2.knb.ne.jp/news/20130813_37525.htm) (-> [http://www2.knb.ne.jp/news/20130813\\_37525.htm](http://www2.knb.ne.jp/news/20130813_37525.htm))

(チューリップTV)8/13

[http://www.tulip-tv.co.jp/news/detail/?TID\\_DT03=20130813170046](http://www.tulip-tv.co.jp/news/detail/?TID_DT03=20130813170046) (-> [http://www.tulip-tv.co.jp/news/detail/?](http://www.tulip-tv.co.jp/news/detail/?TID_DT03=20130813170046)

[TID\\_DT03=20130813170046](http://www.tulip-tv.co.jp/news/detail/?TID_DT03=20130813170046))

## 航空4社、新千歳—羽田線、7月搭乗実績、前年同月1.6%減、L/F70.9%

(北海道新聞によると)

航空4社が運航する新千歳—羽田線の7月の搭乗実績(スカイマークは確定値、他社は速報値)によると、総旅客数は82万9487人で前年同月に比べて1.6%減と、3カ月ぶりで前年を下回った。平均搭乗率は同1.3ポイント減の70.9%となった。

航空会社別の旅客数は全日本空輸のみが前年同月を上回り、同1.2%増の36万8030人。AIRDOは同10.8%減の9万3837人と振るわなかった。日本航空は同0.3%減の29万2652人、スカイマークは同6.2%減の7万4968人だった。

全日空は「昨年より1往復増便したことで堅調だった」と説明。1割以上も前年同月を下回ったエア・ドゥは「格安航空会社(LCC)の成田線などに利用客が流れた。昨年24便運航した臨時便が今年は2便にとどまったのも響いた」と話した。スカイマークは「羽田—旭川線の復活などによる機材繰りで1往復減便したため」とみる。

搭乗率はスカイマークのみが前年同月を上回り、同4.4ポイント増の85.7%。日航が同1.5ポイント減の70.2%、全日空が同1.2ポイント減の67.7%、エア・ドゥが同3.2ポイント減の76.9%だった。

(北海道新聞)8/13

<http://www.hokkaido-np.co.jp/news/economic/485368.html> (-> <http://www.hokkaido-np.co.jp/news/economic/485368.html>)

新千歳空港、7月、外国人入国者数、前年同月比45.5%増、単月で過去最高

札幌入国管理局千歳苫小牧出張所は13日までに、7月の新千歳空港の外国人入国者数(概数)を発表した。前年同月比45・5%増の6万5900人と今年2月の4万9千人を上回り、単月の入国者数で過去最高を記録した。

背景の一つは国際線の便数増。定期便とチャーター便を合わせた便数は同21・7%増の353機に上った。また、日本政府が7月、タイ、マレーシア、フィリピン、ベトナム、インドネシアの東南アジア5カ国からの観光客の査証発給要件を緩和したことや、円安も追い風になったとみられる。

(北海道新聞)8/14

<http://www.hokkaido-np.co.jp/news/economic/485517.html> (-> <http://www.hokkaido-np.co.jp/news/economic/485517.html>)

ジェットブルー(LCC)、到着手荷物宅配サービスを開始

(AFPによると)

航空各社が預け入れ荷物の手数料を引き上げる中、米格安航空会社(LCC)のジェットブルー航空は、荷物引き渡しコンベヤーを通らずに、荷物を直接、乗客の自宅や滞在先のリゾート地まで届ける宅配サービスを立ち上げた。

ジェットブルーは8月上旬、空港から半径64キロ以内の最終目的地まで、乗客の預け入れ荷物を届ける新サービス「バッグVIPコンシェルジュサービス」の詳細を発表した。期間限定の特別価格は、荷物1個の預け入れが25ドル(約2400円)、最大10個までで40ドル(約3800円)。

同サービスの申し込みは、出発の1時間前まで受け付けている。荷物はVIPタグで識別され、到着後4時間以内に指定の目的地まで配送される。

乗客の荷物の詰め込み過ぎを防止して積載重量を減らし、燃料費を削減すると同時に、より多くの収入源を見つける努力の一環として、航空各社は機内持ち込み手荷物にまで課金するようになると業界関係者は予測しているが、この荷物宅配サービスはそうした流れに屈しない形でスタートする。

(AFP)8/13

[http://www.afpbb.com/article/economy/2961754/11180649?ctm\\_campaign=txt\\_topics](http://www.afpbb.com/article/economy/2961754/11180649?ctm_campaign=txt_topics) (-> [http://www.afpbb.com/article/economy/2961754/11180649?ctm\\_campaign=txt\\_topics](http://www.afpbb.com/article/economy/2961754/11180649?ctm_campaign=txt_topics))

米司法省、アメリカン航空・USエアウエイズ合併差し止めを提訴

米司法省は13日、アメリカン航空とUSエアウエイズが計画している合併を差し止めるよう求める裁判を起こしたと発表した。両社は2月に合併で合意しており、9月までの合併完了を目指していた。

日経によると、両社の合併でユナイテッド航空を抜いて世界最大の航空会社が誕生する見通しだったが、米司法省は「全米で(航空会社間の)競争が妨げられ、運賃の上昇とサービスの質の低下を招く」として、合併の取りやめを求める。

欧州連合(EU)の欧州委員会は先日、合併を承認している。

(日経)8/14

[http://www.nikkei.com/article/DGXNASGN1301C\\_T10C13A800000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASGN1301C_T10C13A800000/) (-> [http://www.nikkei.com/article/DGXNASGN1301C\\_T10C13A800000/](http://www.nikkei.com/article/DGXNASGN1301C_T10C13A800000/))

タイガーエア・フィリピン(LCC)、コンビニ決済を導入

タイガー・エアウエイズが40%を出資するタイガーエア・フィリピン(旧シーエア)はこのほど、航空券の支払いに関し、コンビニエンスストアのセブンイレブンで決済が可能になったと明らかにした。13日付ビジネスワールドなどが伝えた。

クレジットカードを所有しない顧客に対してもサービスを提供するのが狙いで、同社のウェブサイト上で航空券を予約すると、国内に約830カ所のセブンイレブンで決済が可能な予約コードを取得できる仕組みとなっている。

タイガーエア・フィリピンは、先月には、向こう3~5年で保有機材を25機に増やす計画を明らかにしており、路線拡大を

進めている。

(NNA ASIA)8/14

<http://nna.jp/free/news/20130814php013A.html> (-> <http://nna.jp/free/news/20130814php013A.html>)